

2011年(平成23年)
NHK大河ドラマ
(第50作)

ごう
江

～姫たちの戦国～

脚本/田淵久美子

特集
2

に決定!!

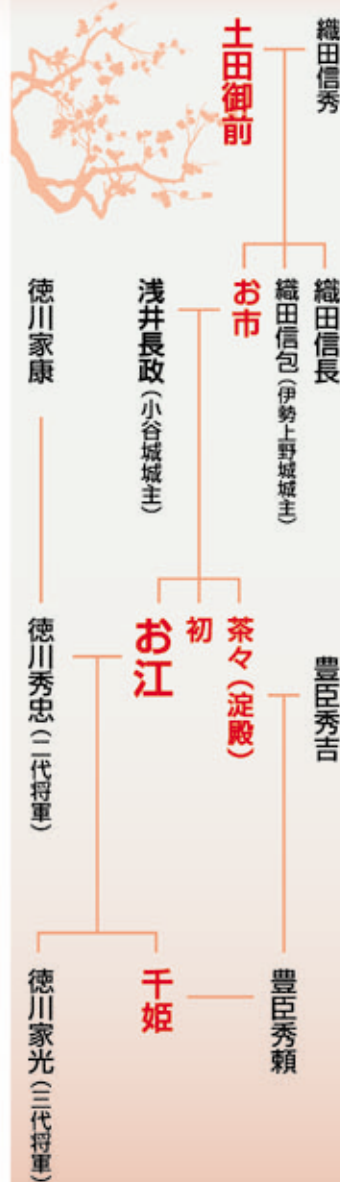
大河ドラマは伊勢の国・津からスタートか!?

江は小谷城落城後、9歳まで伊勢上野城(本城山公園)や津城に来て暮らす。
本能寺の変(信長死す)の時、母子は津城にいた!!

お江の幼年期の歴史



お江の系図



伊勢上野城跡 津市河芸町上野

伊勢上野城は、現在の津市河芸町上野の伊勢街道沿いの、旧上野宿の西側背後の台地に造られた中世の城でしたが、その築城時期は不明で、室町時代に造られたのではないかと推定されます。当時安濃郡分部(現在の津市分部)を本拠地としていた分部氏が、いつのころからか長野氏の一族となり、1548年(天文17年)ころ長野氏からこの城を預けられて在城しました。

その後1568年(永禄11年)に、織田信長が伊勢国侵攻により長野氏と戦いましたが、和睦して長野氏は信長の弟信包を養子とし、信包を伊勢上野城の城主としました。城主となった信包は、1571年(元亀2年)から、安濃津の地に安濃津城築城に着手しました。その2年後の1573年(天正元年)に、浅井長政と妻の信長の妹お市の方と三人娘(茶々、初、江)が居城していた近江国小谷城が、織田信長に滅ぼされて落城すると、生き延びたお市の方と三人娘は、信長の計らいで伊勢上野城の信包のもとに預けられ、親子ともども、信長の生母土田御前とともに在城して、信包の世話になりました。

その後安濃津城が築城されると、お市の方と三人娘は信包とともに安濃津城へ移りました。藤堂高虎が津藩主となると1619年(天和5年)に廃城となり建物は壊されて城郭の跡のみ残って現在に至っています。



本丸跡と天守台跡(展望台) 本丸跡の遺構・溝跡

四天王寺(してんのうじ)

四天王寺は、正称を塔世山四天王寺と言い、曹洞宗の中本山です。推古天皇の勅願による聖徳太子の建立と伝えられており、平安時代には当地方で最も栄えた寺院でした。その後戦火などで荒廃と復興を繰り返していました。信包のところに身を寄せていた信長の生母土田御前は、死後四天王寺に葬られその墓石があります。墓石は苔むして風化が激しく、時の流れを感じます。お市の方も四天王寺をたびたび訪れていたことでしょう。

藤堂高虎が津藩主となってから高虎が改築し、二代藩主高次が寺領を寄進して、寺勢を取り戻しました。しかし、1945年(昭和20年)の戦災でほとんどの堂宇が焼失し、総門(山門)、中雀門、鐘楼だけが残りました。本堂、庫裏は戦後再建しました。



四天王寺総門(山門) 中雀門 信長生母土田御前の墓 藤堂高虎夫人久芳院の墓

津城跡(三重県指定史跡)

津城は、織田信長の弟織田信包が、伊勢安濃津の地に、1580年(天正8年)に安濃津城を築城完成したのが始まりです。信包が伊勢上野城から安濃津城に移ると、信包の世話になっていたお市の方と三人娘も共に安濃津城に移って在住するようになりました。そして、1582年(天正10年)に本能寺の変で信長が死ぬと、信長の三男信孝の勧めでお市の方が柴田勝家の妻となるまで、お市の方と三人娘は安濃津城で平和に暮らしました。彼女らが暮らしていたのは、信包時代の安濃津城にあった局丸ではなかったかと伝えられています。その後富田信高が城主となり、1600年(慶長5年)の関ヶ原戦の前哨戦で西軍に包囲されて落城焼失しました。徳川幕府になってから、家康の命で藤堂高虎が1608年(慶長13年)に伊予国今治から伊勢・伊賀国に転封されて、初代津藩主となり、高虎は1611年(慶長16年)から津城と城下の拡張整備を行い、現在の津城を築いたもので、高虎が確立した近世城郭の典型的な、日本一広い内堀の平城です。その後安濃津城は津城と称するようになりました。

明治維新後城、建物がすべて取り壊され、外堀全てと内堀の大半が埋め立てられ、本丸、西の丸の石垣と内堀の一部しか残っていません。最近隅櫓と多聞櫓の図面が発見されその復元と整備が待たれています。



春の津城北内堀と本丸石垣



紅葉の津城模擬隅櫓

平成23年NHK大河ドラマ『江』～姫たちの戦国～ お江ゆかりの地名所案内とマップ

お江が0歳から9歳まで過ごした伊勢上野城跡(現本城山青少年公園)

お江の祖母で信長の母である土田御前のお墓がある 四天王寺

津城跡

その他の名所

- 真宗高田派本山専修寺
- 一身寺内町
- 津信楽公園
- 谷川土清史跡
- 恵日山観音寺(津観音)
- 藤堂家墓所・寒松院
- 結城神社

津城跡

- 津市役所
- 津市役所P
- 津中央郵便局
- 津新町駅
- 津警察署
- 松菱
- 西の丸跡
- 高山神社
- 本丸跡
- 隅櫓
- 天守台跡

津

- 津信楽公園
- 三重県庁
- 四天王寺
- 津観音
- 三重会館
- 津城跡
- 寒松院
- 津なぎさまち
- 津なぎさまち(中部国際空港アクセス港)

NHK大河ドラマ「江」を応援する会 入会のご案内

■ ごあいさつ

かねて準備しておりましたNHK大河ドラマ「江」を応援する会（略称「お江を応援する会」）は、さる11月27日に設立発足会を開催して活動計画、会則、役員を決め、正式に発足しました。

今後は、ドラマで津が舞台となることを期待して、活動計画に基づき、津にお江ゆかりの地があることを全国に発信し、津に全国から観光客が訪れていただくよう、お江ゆかりの地はもちろんのこと、その他津の名所を広報、周知して、津の観光振興と地域の活性化に、貢献して行きたいとの決意で地道に活動を繰り広げていく所存です。

どうか、多くの市民のみなさんが当会の趣旨にご賛同いただき、会員として共に参加していただきますようお願い申し上げます。

役 員	会 長	黒宮 英二		
	事務局長	村田 義信		
	会 計	西山 光正		
	理 事	阿竹 孝	奥田 邦雄	加藤 壽
		川村 直希	草深 利之	高垣 和郎
		西井 健之	前田 幹弘	増田 慶次
		八木 道哉		
	監 事	伊藤 恭子		

入会申込書

私は大河ドラマ「江」を応援する会の設立趣旨に賛同し、入会を申し込みます。

申込日：平成 年 月 日

<input type="checkbox"/>	準会員	無 料
--------------------------	-----	-----

〔正会員はできるだけ全てご記入下さい
準会員は氏名、連絡先(TEL・FAX・メールのいずれか)を必ずご記入下さい〕

<input type="checkbox"/>	正会員	会 費 1,000円
--------------------------	-----	------------

※ 氏名欄には、個人は氏名のみ、企業は企業名と代表者名又は担当者名をご記入下さい

どちらかに マークを入れてください。

フリガナ				年 齢	
氏 名				才	
住 所	〒				
TEL	(自宅)	-	-	性 別	男 ・ 女
	(携帯)	-	-	F A X	-
Eメール アドレス					
所属団体及び勤務先名称			役職名・所属部署名		

(申込先) 大河ドラマ「江」を応援する会 (通称「お江」を応援する会) 事務局

FAX:059-235-4388 担当:(株)エムテック 村田(連絡はFAXで)

詳しくはホームページをご覧ください → <http://www.smmnet-1.com/go/>